情　報　公　開　文　書

研究の名称	成人心臓／大血管／末梢血管疾患に対する外科治療の遠隔成績
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	富山大学附属病院　　助教　横山 茂樹
研究の概要	【研究対象者】 富山大学附属病院において 2005 年以降から 2030 年に治療を受けた下記の成人(18 歳以上)心／血管疾患を有する患者 虚血性心疾患や心筋梗塞後合併症、先天的及び後天的弁膜症疾患、大動脈瘤、急性大動脈解離、閉塞性動脈硬化症、不整脈に対する外科手術、重症心不全を呈する心筋症・及びその類縁疾患、静脈瘤及びその類縁疾患、その他先天奇形に起因する心疾患、川崎病に起因する心疾患及び遺伝的要素の強い血管疾患や自己免疫が関与した血管疾患も対象に含みます。 【研究の目的・意義】 心臓／血管領域外科治療成績はこの 20-30 年で大きく改善し、術後成績は飛躍的に改善し、死亡率は待機手術では 2%以下となっています。一方で未だ緊急手術やハイリスク手術の予後については不明瞭な部分も多く残っていると言えます。近年、心臓血管外科学会や胸部外科学会が共同となり NCD とは別に日本成人心臓血管外科手術データベース（JACVSD）を作り、手術の予想死亡率や合併症が算出できるようになってきましたが、治療時の年齢、合併症、身体的脆弱性（フレイル)、緊急性の有無などで検討されるべき側面を多く残しており、様々な角度からの分析が必要です。特に、疾患頻度の低い急性大動脈解離や重症心不全や成人先天性心疾患に至っては 1 例の経験でも学術的に貢献し得、いずれの疾患においてもデータの蓄積・分析が必要であると考えられます。 富山大学附属病院では心臓及び血管の手術を２００−２５０例／年程度行っており、北陸地方の基幹施設です。多くの症例を当院で継続的に経過観察しており、診療記録、検査所見、治療予後などの経験を蓄積し続けています。当院での成績、検査などから得られたデータを基に、より良い診療へ役立てます。 【研究の方法】 診療録から臨床経過、手術所見、血液検査所見、心臓超音波検査および心臓カテーテル検査所見等の臨床経験を集計し、治療予後を後方視的に検討します。 【研究期間】 2020 年 6 月 30 日から 2030 年 12 月 31 日まで 【研究結果の公表の方法】 国内外の学会への発表、査読制度のある論文への投稿
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有	研究用に新たに検査を行うことはありません（必要な検査は全て臨床判断に基づき施行します)。患者様の情報は匿名化し、個人が特定されないように管理します。

無）	
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院　第一外科　助教　横山　茂樹
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学附属病院　第一外科　助教　横山　茂樹
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話　076-434-7330 FAX　076-434-5032 E-mail　y1222@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名　富山大学附属病院　第一外科　助教　横山　茂樹